平成２７年度　　能登川高等学校（全日制）　学校評価

本年度の重点目標

・「当たり前のこと」が当たり前にできる人間の育成。
・確かな学力と基本的な生活態度を身につけさせ、生徒一人ひとりの適性にあった進路希望の実現を図る。

領　域	重　点　評　価　項　目	中間評価(10月)	総合評価（３月）	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1　学校経営	校長は、自らの教育理念にもとづいて学校経営を推進している。	A	A	A
	地域との連携を一層強化するとともに、保護者にも教育方針の周知徹底を図っている。	A	A	A
2　学習指導	家庭学習の習慣が定着するよう、丁寧な指導を行っている。	A	A	A
	生徒の学習意欲を喚起する適切な指導と評価を行っている。	A	A	A
3　生徒指導	礼儀と規律と徳性のある生活態度を育成している。	A	A	A
	教師と生徒の豊かな人間関係の育成に努めている。	A	A	A
	アンケートの実施や個別面談、啓発活動を通して、いじめ防止に努めている。	A	A	A
4　進路指導	望ましい勤労観、職業観の育成など、系統的な進路指導を行っている。	A	A	A
	個に応じた進路選択に向け、きめ細かい情報提供を行っている。	A	A	A
5　特別活動等	ＬＨＲや学校行事に積極的に取り組んでいる。	A	A	A
	生徒会活動やＨＲ活動などで生徒が主体的に活動するよう指導している。	B	B	B
6　学校図書館	リクエスト・レファレンスに積極的に応え、貸出の定着を図っている。	B	B	B
	教科・科目、総合的な学習の時間やＬＨＲ等に図書館の活用を図っている。	C	B	B
7　保健・安全指導	健康な生徒が、より健康であり続けるためのヘルスプロモーションにつながる指導を行っている。	B	B	B
	個々の心身の健康状態に応じた、個別指導を行っている。	A	A	A
8　人権教育	自尊感情を高めるとともに、円滑な人間関係が築けるように指導を行っている。	A	A	A
	視聴覚教材等を活用し、ＬＨＲ等で人権意識を高める指導を行っている。	B	B	B
9　環境教育	校舎内外の美化に積極的に取り組んでいる。	A	A	A
	ゴミの減量化に努めている。	B	B	B
10　事務・管理	施設・設備の安全点検を適切に行っている。	A	A	A
	文書管理を適切に行っている。	A	A	A
11　その他 学校の取組み	学校評議員制度を一層有効に機能させ、外部から見た学校評価の具体的な助言が得られている。	B	B	B
	朝食指導を充実させるなどの食育教育を積極的に行っている。	C	B	B

（注）・評価表の見方：　６月　学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表
１０月　中間評価（自己評価）の公表（８月までの教育活動に対する中間評価）ＡＢＣＤの４段階評価で示す。
３月　総合評価（自己評価・学校関係者評価）の公表（年間の教育活動に対する総合評価）ＡＢＣＤの４段階で示す。
・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。
・ＡＢＣＤの基準は、肯定的な評価が75%以上をＡ、50%以上75%までをＢ、25%以上50%までをＣ、25%未満をＤとする。

学校のＵＲＬ：http://www.notogawa-h.shiga-ec.ed.jp/

平成２７年度　　能登川高等学校（定時制）　学校評価

本年度の重点目標

・「当たり前のこと」が当たり前にできる人間の育成。
・確かな学力と基本的な生活態度を身につけさせ、生徒一人ひとりの適性にあった進路希望の実現を図る。

領　域	重　点　評　価　項　目	中間評価(10月)	総合評価（３月）	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1　学校経営	校長は、自らの教育理念にもとづいて学校経営を推進している。	A	A	A
	地域との連携を一層強化するとともに、保護者にも教育方針の周知徹底を図っている。	A	A	A
2　学習指導	家庭学習の習慣が定着するよう、丁寧な指導を行っている。	B	B	B
	生徒の学習意欲を喚起する適切な指導と評価を行っている。	A	A	A
3　生徒指導	礼儀と規律と徳性のある生活態度を育成している。	A	A	A
	教師と生徒の豊かな人間関係の育成に努めている。	A	A	A
	アンケートの実施や個別面談、啓発活動を通して、いじめ防止に努めている。	A	A	A
4　進路指導	望ましい勤労観、職業観の育成など、系統的な進路指導を行っている。	B	B	B
	個に応じた進路選択に向け、きめ細かい情報提供を行っている。	A	A	A
5　特別活動等	ＬＨＲや学校行事に積極的に取り組んでいる。	A	A	A
	生徒会活動やＨＲ活動などで生徒が主体的に活動するよう指導している。	B	B	B
6　学校図書館	リクエスト・レファレンスに積極的に応え、貸出の定着を図っている。	B	B	B
	教科・科目、総合的な学習の時間やＬＨＲ等に図書館の活用を図っている。	C	B	B
7　保健・安全指導	健康な生徒が、より健康であり続けるためのヘルスプロモーションにつながる指導を行っている。	B	B	B
	個々の心身の健康状態に応じた、個別指導を行っている。	A	A	A
8　人権教育	自尊感情を高めるとともに、円滑な人間関係が築けるように指導を行っている。	A	A	A
	視聴覚教材等を活用し、ＬＨＲ等で人権意識を高める指導を行っている。	B	B	B
9　環境教育	校舎内外の美化に積極的に取り組んでいる。	A	A	A
	ゴミの減量化に努めている。	A	A	A
10　事務・管理	施設・設備の安全点検を適切に行っている。	A	A	A
	文書管理を適切に行っている。	A	A	A
11　その他 学校の取組み	学校評議員制度を一層有効に機能させ、外部から見た学校評価の具体的な助言が得られている。	B	B	B
	学校給食や朝食指導を充実させるなどの食育教育を積極的に行っている。	A	A	A

（注）・評価表の見方：　６月　学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表
１０月　中間評価（自己評価）の公表（８月までの教育活動に対する中間評価）ＡＢＣＤの４段階評価で示す。
３月　総合評価（自己評価・学校関係者評価）の公表（年間の教育活動に対する総合評価）ＡＢＣＤの４段階で示す。
・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。
・ＡＢＣＤの基準は、肯定的な評価が75%以上をＡ、50%以上75%までをＢ、25%以上50%までをＣ、25%未満をＤとする。

学校のＵＲＬ：http://www.notogawa-h.shiga-ec.ed.jp/

今後の改善策

〇学校経営において：総合単位制高校として２年目を迎えた。生徒・保護者の現状や要望を踏まえ、教育課程の見直しを行っていく。

〇学習指導において：授業改善に向け取り組む。ペアワーク、グループ学習の取組を進めるとともに、生徒の発表の機会を増やす等して生徒の学習意欲の喚起を図れるように取り組む。公開授業を実施する。
全日制では、家庭学習の習慣化を図るため、教科間で連携して週末課題等を出すようにするとともに、家庭学習時間の調査を実施する。
定時制では、特に１年次の授業において、振り返り学習や反復学習の時間を多く取り入れる。生徒の学びのペースに合わせた授業を行う。

〇生徒指導において：基本的生活習慣の確立を目指し、登校時に遅刻指導・挨拶指導を実施する。
全日制・定時制昼間部で連携して頭髪指導、服装指導に取り組む。定時制では毎週の定時制会議でいじめや特別な支援を必要とする生徒について絶えず情報交換を行う。全日制・定時制ともに面談週間を設定し、いじめの早期発見・早期対応に努める。

〇進路指導において：全日制・定時制生徒の進路選択に関わり、校内選考基準の見直しを行う。求人開拓のため、企業訪問を組織的に行う。平成２９年度以降の定時制夜間部の卒業生の進路実現に向け、特に就職においてはハローワークとの連携を早期から密にする。

〇学校図書館において：移動図書館に取り組むことで、全日制の生徒、定時制の生徒が本を借りやすい環境を整える。